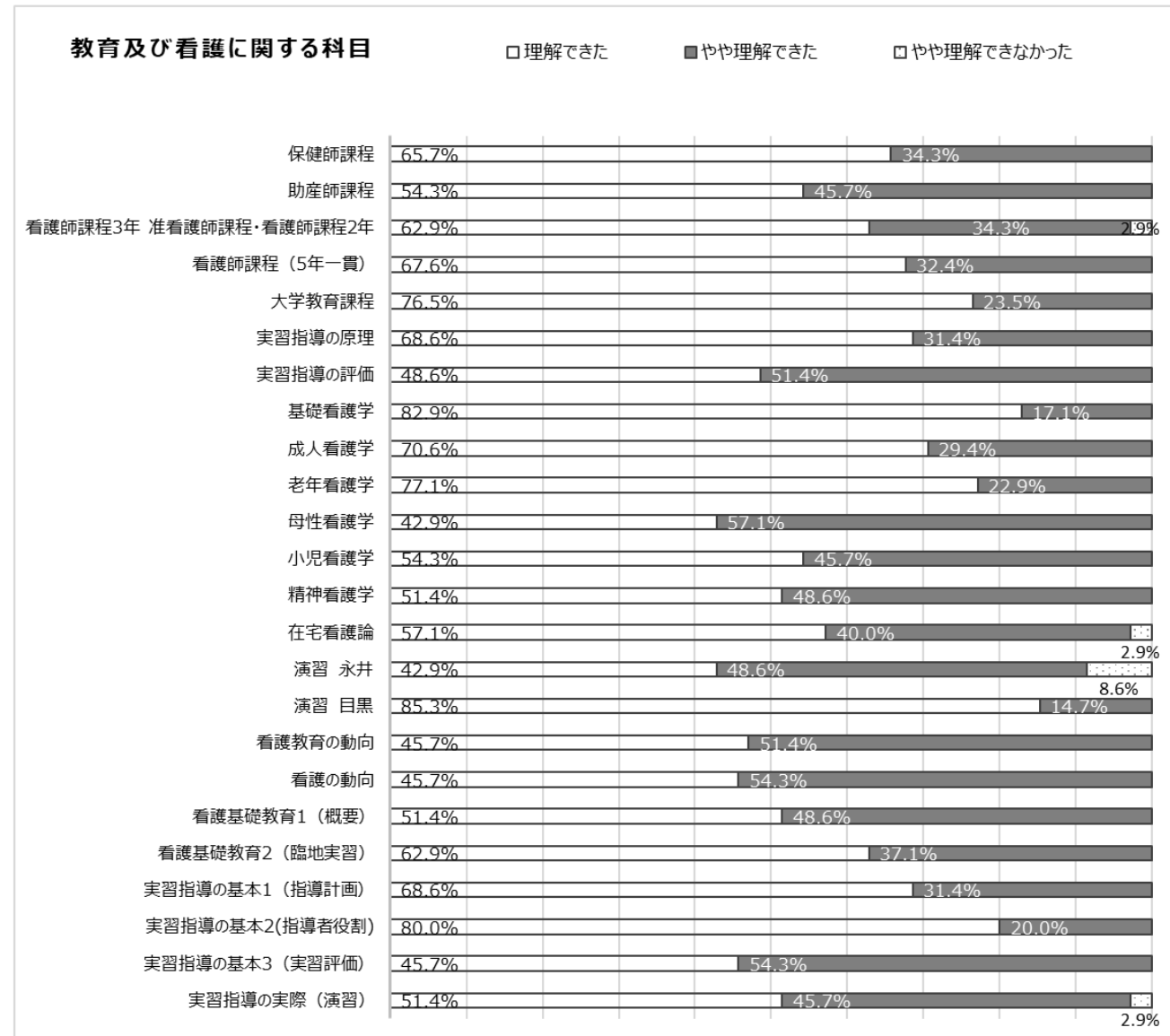
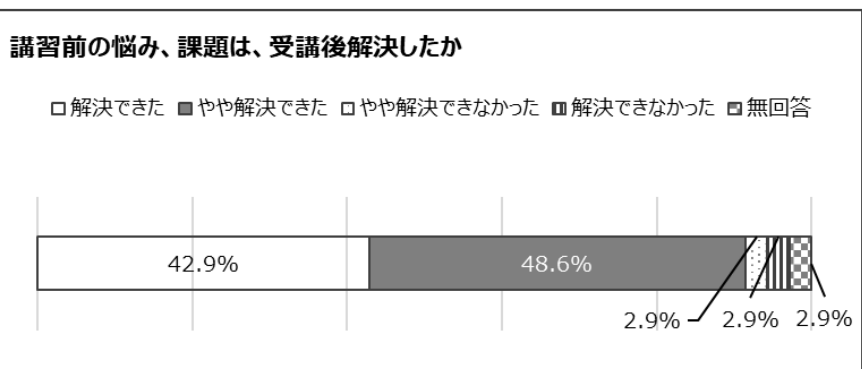
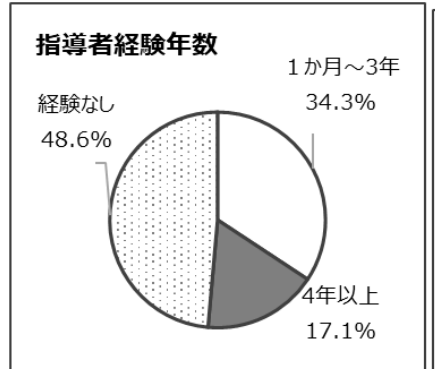
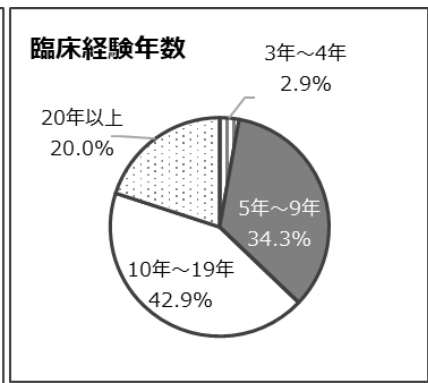
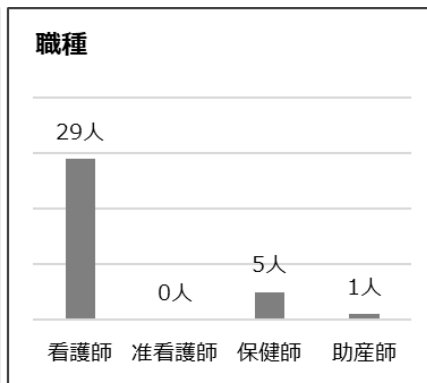
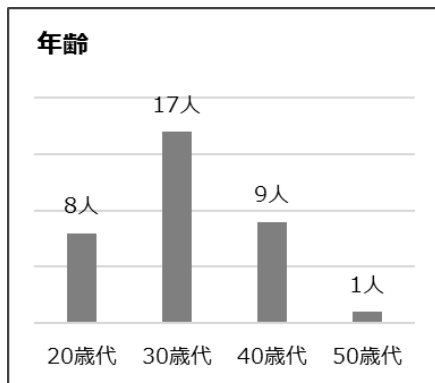


長崎県保健師助産師看護師実習指導者講習会

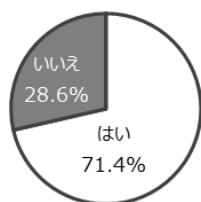
目的：実習指導者の育成。

区分	科目	時間	目標・内容	受講方法	受講期間
教育及び看護に関する科目	教 育 原 理	15	教育の本質の基本知識、概念及び必要な理論を学ぶ。 ・教育の本質、目的 ・教育活動の特性	eラーニング活用	6月1日～9月30日
	教 育 方 法	15	教育方法の基本知識及び必要な理論を学ぶ。 ・授業形態、教育方法及び教材の活用 ・教授－学習過程の理解 等		
	教 育 心 理	15	人間の発達と学習過程における心理的な特徴についての基礎知識及び必要な理論を学ぶ。 ・成長発達に伴う学習者心理の理解 ・学習過程における心理 等		
	教 育 評 価	15	教育評価の基礎知識及び必要な理論を学ぶ。 ・教育評価の目的と方法 ・講義、演習、実習評価の方法 等		
	看 護 論	15	人間の健康、看護の考え方を多角的に学び、看護についての視野を広げ、自己の看護観を明確にする。 ・看護の機能と役割 ・看護場面と看護観の再構成 ・健康の概念と健康支援 ・倫理的課題とその対応方法 等		
	看 護 教 育 課 程	15	教育目的・内容・カリキュラムの考え方を知り、看護教育課程について理解する。看護過程の知識を深め、看護実践と思考過程を結びつけた指導方法を理解する。		
実習指導に関する科目	実 習 指 導 の 原 理	15	実習指導を意図的・計画的に実践する必要性と方法がわかる。 1. 実習の意義 2. 実習指導の方法 3. 実習指導者の役割 4. その他	集合研修	11月7日～12月10日
	実 習 指 導 の 評 価	15	実習計画・指導方法を評価し、指導内容を改善する必要性と方法がわかる。 1. 実習評価の意義 2. 実習評価の方法 3. その他		
	実 習 指 導 の 実 際 Ⅰ	15	看護基礎教育における、各看護学実習の目的・目標など基本的な知識を学ぶ。		
	実 習 指 導 の 実 際 Ⅱ	60	授業デザインの作成および実習指導場面の疑似体験を通して、実習指導者の役割と意義、学生が看護を学べるよう支援するあり方を理解する。 今後の自分の役割と課題を明確にできる。		
総計		195			

	日にち	曜日	9：30～11：00	11：00～12：30	13：30～15：00	15：00～16：30
諫 早	11月7日	木	会長挨拶（10：45～）	特別講演	特別講演	オリエンテーション
				日野出 悦子	岩井 真奈美	担当者
諫 早	11月8日	金	実習指導の評価（1）		実習指導の評価（2）	
			山澄 直美		山澄 直美	
	11月9日	土				
	11月10日	日				
諫 早	11月11日	月			助産師課程	
					永橋 美幸	
諫 早	11月12日	火	実習指導の実際（精神看護学）	実習指導の実際（基礎看護学）	実習指導の実際（母性看護学）	准看護師課程・看護師課程（2年課程）
			堂下 陽子	三重野 愛子	佐々木 規子	原田 恵
諫 早	11月13日	水	保健師課程		看護師課程（5年一貫）	
			中尾 理恵子		木庭 昭夫	
諫 早	11月14日	木	大学教育課程		実習指導の実際（老年看護学）	
			永江 誠治		山口 多恵	
諫 早	11月15日	金	実習指導の評価（3）		実習指導の実際（小児看護学）	
			山澄 直美		林田 りか	
諫 早	11月16日	土	実習指導の評価（4）		実習指導の評価（5）	
			植垣 一彦		植垣 一彦	
	11月17日	日				
諫 早	11月18日	月	実習指導の原理（1）		実習指導の原理（2）	
			吉田 恵理子		吉田 恵理子	
諫 早	11月19日	火	実習指導の実際（在宅看護論）		実習指導の原理（3）	
			川崎 涼子		片穂野 邦子	
諫 早	11月20日	水	看護師課程（3年課程）		実習指導の実際（成人看護学）	
			糟谷 操子		吉田 恵理子	
諫 早	11月21日	木	実習指導の原理（4）		実習指導の原理（5）	
			高比良 祥子		高比良 祥子	
佐世保	11月22日	金	実習指導の実際（1）		実習指導の実際（2）	
			目黒 悟		目黒 悟	
	11月23日	土	勤労感謝の日			
	11月24日	日				
佐世保	11月25日	月	実習指導の実際（3）		実習指導の実際（4）	
			永井 睦子		永井 睦子	
佐世保	11月26日	火	実習指導の実際（5）		実習指導の実際（6）	
			永井 睦子		永井 睦子	
佐世保	11月27日	水	実習指導の実際（7）		実習指導の実際（8）	
佐世保	11月28日	木	実習指導の実際（9）		実習指導の実際（10）	
			松井 香子		松井 香子	
	11月29日	金				
	11月30日	土				
	12月1日	日				
佐世保	12月2日	月	実習指導の実際（11）		実習指導の実際（12）	
佐世保	12月3日	火	実習指導の実際（13）		実習指導の実際（14）	
	12月4日	水				
佐世保	12月5日	木	実習指導の実際（15）		実習指導の実際（16）	
			（発表会準備）			
	12月6日	金				
佐世保	12月7日	土	実習指導の実際（17）		実習指導の実際（18）	
					永井 睦子	
	12月8日	日				
佐世保	12月9日	月	実習指導の実際（19）		実習指導の実際（20）	
			目黒 悟		目黒 悟	
佐世保	12月10日	火	閉講式（10：30～）			



**実習指導者として
従事する予定ですか**



受講者数	35人
回答者数	35人
回答率	100%

<評価>

e-ラーニング授業評価は概ね（75%以上）「理解できた」～「まあまあできた」であった。段階的に受講進度を予め決め、実施期間を固定する方法を3年前より導入したことが学びを深める一助になったと考える。3年前よりシラバスを事前に送付し、補填内容をメールにて随時送り（e-ラーニングの利点）（学習方法）を伝えていったことにより混乱は見受けられなかった。しかしながら、各施設へ受講時間確保への協力文章を送付しなかったことにより、受講生の半数近くが勤務時間外に学習。受講者に負担を負わせる形になってしまった。獲得された学習内容として（自己の看護観・指導観に関する振り返りや気づき）26件、（学生と共に学び成長・共育）に関することが16件と多く記載されていた。他、教育に関する学びや学習環境に関することが述べられていた。演習並びに講義内容から「認識のズレ」に関しての学びが記載されており、同教科の継続を望む意見も見受けられていた。少数意見ではあるが「これから関わることへの楽しみ」や「教育への興味が増した」内容を記載している者もいた。本研修の目標は達成できていたと思われる。

<課題と今後の取り組み>

e-ラーニング受講における受講者の負担増加が課題として残ったため、今後「勤務時間内で出来るよう」施設への協力依頼としていく。